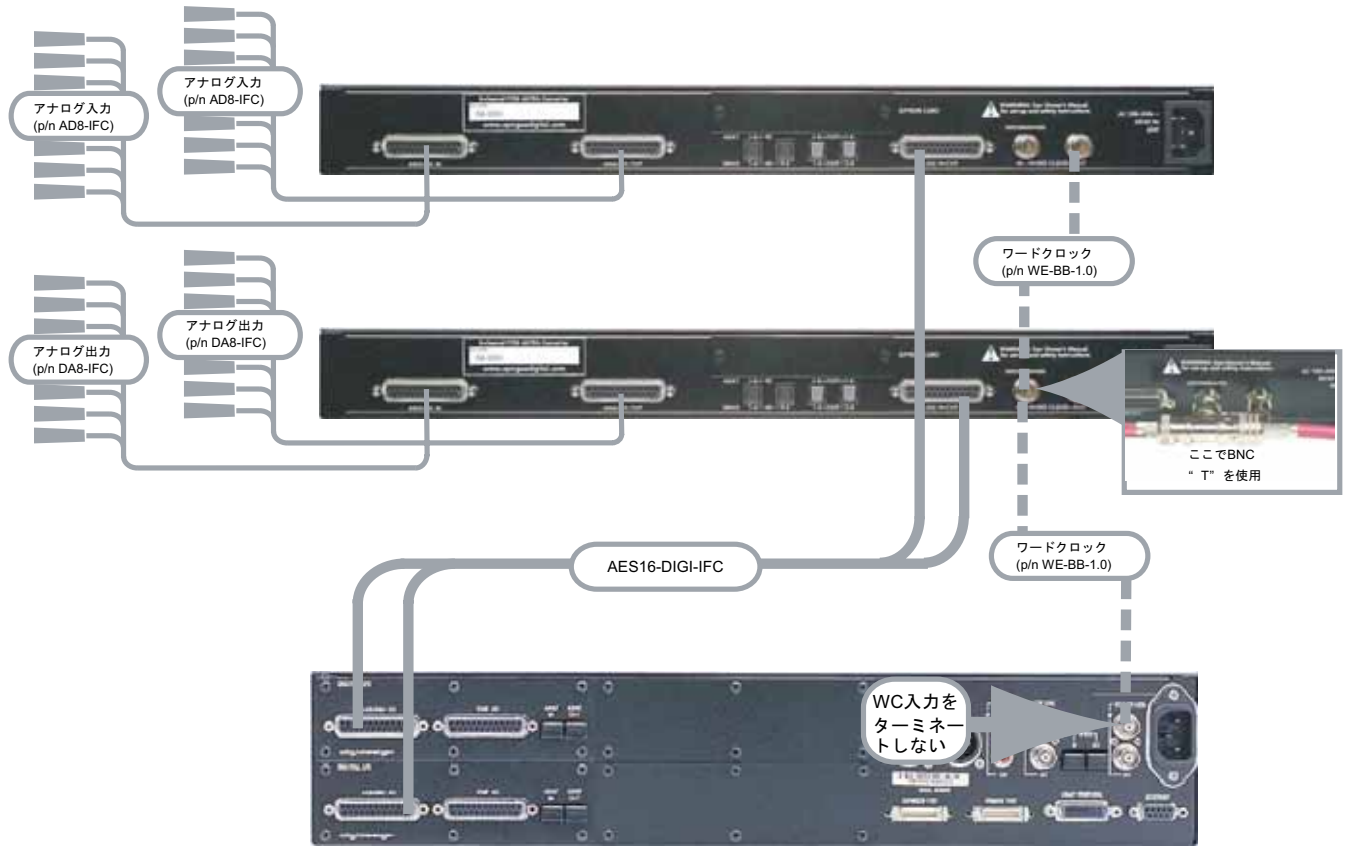


Apogee 接続 : AD DA 16X - Digidesign DIG192

ハードウェアの接続



AD-16X の WC 出力を DA-16の WC 入力に BNC“ T” コネクタで接続します。BNC“ T” コネクタのもう片方をDIG192 Ext Clock In に接続します；この入力をターミネートしないで下さい。もしくは、Apogee Big Ben をマスタークロックとして使用し、各デバイスにBig Ben の WC 出力に接続します。

ハードウェアの設定



▲ INT 希望するサンプルレートを
 ▲ 選択 サンプルレート=44.1kHz-96kHzの場合、**SINGLE** に設定
 ▲ サンプルレート=176.4-192kHz の場合、**DOUBLE** に設定



▲ WC
 ▲ ▲ AES
 サンプルレート=44.1kHz-96kHzの場合、**SINGLE** に設定
 サンプルレート=176.4-192kHz の場合、**DOUBLE** に設定

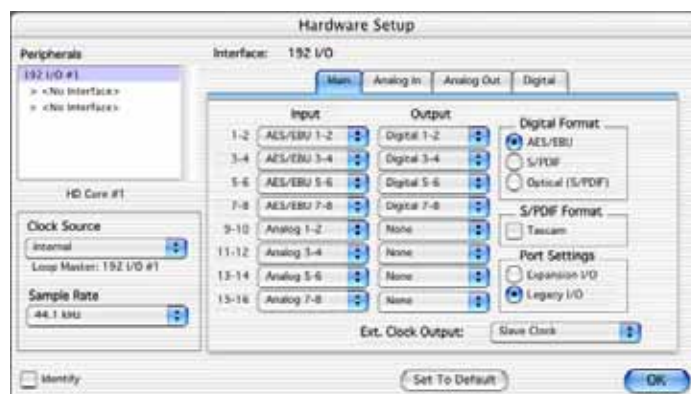
Apogee 接続 : AD DA 16X - Digidesign DIG192 (続)

ソフトウェアの設定

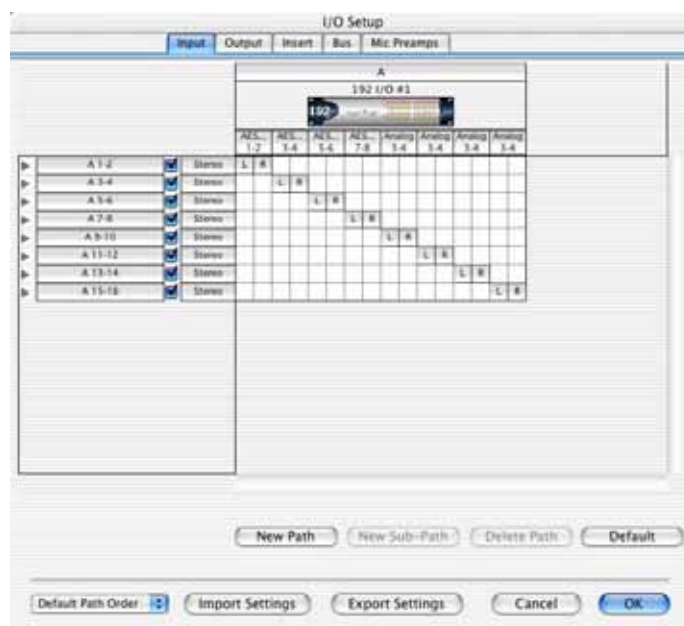
全てのハードウェア接続を行った後、Pro Tools ソフトウェアを開きます。**Setups**から**Hardware Setup** を選択します。ハードウェア セットアップ ページでは、**Clock Source**を**Word Clock**に設定します。

Mainタブでは、**Input** をAESペアに設定します、即ち：**AES 1-2, AES 3-4** などです。

Outputを**Digital 1-2, Digital 3-4** などに設定します。



ハードウェア セットアップ ページを開き、**I/O Setup** ページを開きます。**Input** tabでは、**Default**ボタンをクリックして、上記で指定されたハードウェアI/Oを素早くソフトウェアI/Oにルートさせます。**Output**タブでは、再度**Default**ボタンをクリックします。



Mixウィンドウでは、トラック入力及び出力を上記のソフトウェアI/Oに割り当てます。

